

平成29年度 埼玉県郊外教育協会委嘱  
校外教育 研究紀要

研究主題

地域から支えられ、地域を元気にする体験活動による  
夢と志をもちまごころと思いやりのある生徒の育成



深谷市立明戸中学校

埼玉県深谷新井18

TEL 048-571-0869

FAX 048-573-0634

## 1 はじめに

明戸中学校は深谷市の北東部に位置し、学区北にある利根川を越えるとそこは群馬県になるという、埼玉県と群馬県の境の地にあります。学区の1部は群馬県の住所の地区もあり、田園地帯で野菜の栽培が盛んな地域でもあります。

小学校1校と中学校1校の地区であり、各学年とも1クラスしかないためほとんどの生徒は9年間クラス編成がないまま同じメンバーで過ごすことになります。

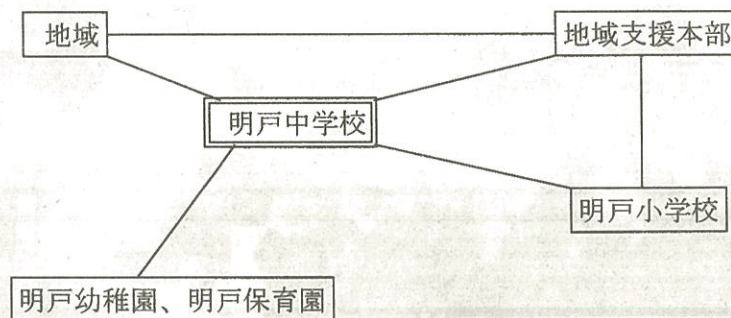
このような小規模校ですが、地域から『学校支援本部』を中心に暖かく見守られて、組織的な支援活動や協力を得ており、学校・家庭・地域が一体となった合同体育祭や合同防災訓練など明戸中学校ならではの教育活動を展開しています。

## 2 研究のねらい

地域行事への参加や地域の学校交流を通して地域の方等と交流する機会を増やし、めざす生徒像の具現化を図る。

## 3 研究の概要

明戸(小中)学校支援地域本部の支援で地域行事への積極的な参加機会を設ける。特色ある教育活動の充実を図り、意図的計画的に体験活動を実施する。その活動を通して、地域に感謝し、地域の核として地域を支える意識を高め、夢と志をもち、まごころと思いやりのある生徒を育成する。



## 4 実践内容

### (1) 新井橋獅子太鼓の演奏

- ・新井橋獅子太鼓とは、明治時代より深谷市内「新井」にある諏訪神社の夏祭に毎年奉納されている獅子太鼓をもとにアレンジしたものの。無病息災を祈願して疫病を払うために勇壮に叩かれたものです。地元の会員二十数名で保存会が組織され、現在まで受け継がれています。
- ・毎年3年生が7月から10月の青桐祭まで練習をして、青桐祭とふれあい祭で発表します。この練習を通じて伝統芸能を体験、学習します。
- ・練習は放課後、武道場で3年生が行い。ボランティアで参加してくれる保存会の方が指導します。毎回3～4人来てくれました。



- ・29年度の練習回数は11月11日に行われたふれあい祭の前にも練習をしたので、合計9回練習を行いました。
- ・青桐祭は明戸中学校の文化祭（合唱コンクール）にあたり、合唱を発表しますが全学年でも3クラスしかいないため、合唱以外の文化的な発表を保護者、来賓や小学6年生を招待して行います。新井橋獅子太鼓は毎年オープニングとして3年生が演奏してきました。

## (2) 花はなプラン

- ・年2回、春と秋に花壇の花の植え替えを地域ボランティアと中学生が協力して行う行事です。
- ・応募してきた深谷市内の30の団体に花の苗を市が提供して、各団体が地域と協力して花壇をつくる取り組みです。
- ・緑化委員会の生徒があらかじめ担当する花壇のデザインを考え、そのデザイン画に従って花壇に花を植えて完成させます。
- ・この活動を通じて地域の人とのコミュニケーションや協力を学びます。



## (3) 社会体験チャレンジ

- ・2学年が3日間様々な事業所で職業体験を行います。
- ・地域支援本部が生徒の希望にそった事業所を探して交渉して準備します。
- ・生徒は地域の事業所で職業体験をして多くのことを学んできます。



## (4) 朝の読み聞かせ

- ・毎週水曜日の朝読書の時間に学年ごと図書室で、読み聞かせボランティアの人が10分間の読み聞かせを行います。



## (5) 地域合同防災訓練

- ・地域の消防団が指導者として行う防災訓練です。
- ・地域の代表者（自治会長、民生委員など）、消防団、中学生が中学校を会場にして行います。
- ・大規模災害が起きたとき、地域の大人が地元へ帰宅してなかったり、また帰ることができないことが考えられ、その場合に中学生が大人が変わって地域の救助活動の手伝いをすることを目的に行われています。



- ・訓練の内容は地区ごとに3つの班に分かれ、『水消火器による初期消火』『毛布と竹で作る簡易タンカ』『三角巾による応急手当』をローテーションですべて体験する。4年前には食事の炊き出し訓練も行いました。
- ・訓練を通じて災害時には自分たち中学生が、地域の救助活動の中心になる自覚が高まってきています。



#### (6) ふれあい祭り

- ・ふれあい祭りは明戸公民館が主催で行われる明戸地区のお祭りで、地域の様々な団体が公民館で出し物や出店を開いて行われるイベントです。
- ・生徒の郊外活動の充実を図り、様々な世代の人々や地域団体との交流・ふれあいを通じて、地域福祉に対する意識を啓発しながら、郷土愛を高めるとともに『ふるさと明戸』を再認識することが趣旨として行われています。
- ・中学3年生がボランティアとして各団体のお手伝いをして参加する他、新井橋獅子太鼓とよさこいソーランを披露します。また、『ありがとうの花』として夏休み中に種まきをして育てたパンジーの花の苗を、会場を訪れた地域の人に無料で配布します。
- ・参加団体のお手伝いをすることにより、様々な世代の人々や地域団体との交流・ふれあいを通じてコミュニケーション能力や勤労へのスキルを向上させます。また新井橋獅子太鼓やよさこいソーランの発表を多くの地域の人に見てもらうことにより、満足感、充実感を生徒は得られます。

### 5 成果と課題

平成29年度の生徒の学校評価によると、

『楽しく学校生活を送っている』が98%

『将来の夢や目標を持っている』が89%

『友だちの気持ちを理解して行動している』が99%

『清掃活動にしっかり取り組んでいる』が99%

『係・委員会活動にしっかり取り組んでいる』が98%

『学校行事にすすんで取り組んでいる』が100%

『部活動にすすんで取り組んでいる』が98%

『「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉が言える』が99%



といった結果になっている。『夢と志をもちまごころと思いやりのある生徒』の育成を目指した活動で『まごころと思いやりのある生徒』に関しては地域の色々な人との交流を通じて確実に育ってきているといえるが、『夢と志をもち』の部分ではまだ課題があるといえる。地域にささえられ、同時に地域を元気にする活動が、子供達の夢や目標と結びつき、将来の「夢・志」につながっていくような取り組みへの工夫が必要であると考えられる。また、明戸中学校は生徒数の減少に伴い学校職員も減少していて、少人数の職員で他の多人数の学校と同じだけ種類のある仕事をこなさなくてはならない。そのため、他校に無い様々な行事や取り組みをこなしていくことは教員に多大な負担を強いることになっている。地域支援本部を中心に職員の負担を軽減する取り組みもしているが、この負担軽減が課題でもある。